

令和 7 年度	年間指導計画	2 学年【国語科】		
---------	--------	-----------	--	--

月	単元・題材 指導目標	観 点	評 価 材 料
4 月	巻頭「見えないだけ」(2) ・作品のイメージを広げて朗読する	観点 1 知識・技能 ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解している。 ・学年別配当漢字、常用漢字の読み・書きについて理解を深め、文章の中で使っている。(通年)	☐ペーパーテスト ☐古典の音読・暗唱
	1 広がる学び(15) 読む「アイスプラネット」「枕草子」 ・登場人物の設定に着目し、人物像や人物同士の関係を読み取る。 ・作者のものの見方や感じ方に触れる。 話す聞く「意見を聞き整理して検討する」「魅力的な提案をしよう」 ・話の構成を工夫し、資料や機器を使って、自分の考えをわかりやすく話す。 言葉「単語をどう分ける？」	観点 2 思考・判断・表現 ・文章を読んで理解したことや考えたことを、知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・文章全体と部分の関係を理解しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。	☐ペーパーテスト ☐パフォーマンステスト ☐授業中のノートやワークシート ☐作品とその作成過程
5 月	【書写】 行書の書き方を学ぼう 1(2) ・点画の省略を理解して書く。	観点 3 主体的に学習に取り組む態度 ・進んで自分の考えを広げたり深めたりして学習課題にそって考えを伝えあおうとしている。 ・進んで登場人物の設定の仕方などを捉え学習課題にそって考えを伝えあおうとしている。	☐授業の振り返り ☐課題に対する取組の姿勢 ☐授業中のノート ☐授業中の発言・振り返り ☐話す態度、聞く態度
	2 多様な視点から(11) 読む「クマゼミ増加の原因を探る」 ・情報と譲渡の関係を図示するなどして整理する。 ・文章全体と部分との関係や、文章と図表との関係に注意して読む。 書く「情報を整理して伝えよう」 ・目的に応じて多様な方法で材料を集め、整理してつたえたいことを明確にする。 言葉「熟語の構成」	観点 1 知識・技能 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報の関係について理解している。 ・読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。	☐ペーパーテスト
6 月	【書写】 行書の書き方を学ぼう 2(2) ・筆順の変化を理解して書く。	観点 2 思考・判断・表現 ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成、論理の展開、表現の効果について考えている。 ・異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ、構成を工夫して説得力のある発表をしている。	☐ペーパーテスト ☐パフォーマンステスト ☐授業中のノートやワークシート ☐作品とその作成過程
		観点 3 主体的に学習に取り組む態度 ・進んで文章の構成や論理の展開について考え、学習課題にそって理解したことや考えたことを説明しようとしている。 ・粘り強く表現の効果などを確かめ、学習の見通しをもって伝えたいことを相手や媒体に考慮して書こうとしている。	☐課題に対する取組の姿勢 ☐授業中のノート ☐授業中の発言・振り返り
7 月	3 言葉と向き合う(13) 読む「短歌に親しむ」「短歌を味わう」「言葉の力」 ・短歌の情景や心情を描写する語句に着目し、語感を磨く。 ・短歌に用いられた、表現の効果について考える。 ・文章を読み、知識や経験と結びつけて考えをまとめる。 言葉「類義・対義語・多義語」「語彙を豊かに」 情報「メディアの特徴を生かして情報を集める」 ・情報メディアの特徴を捉え、目的や状況に応じた情報収集のしかたを理解する。 読書「読書を楽しむ」「翻訳作品を読み比べよう」 ・読んだ本を紹介したり、感想をツタ選ったりすることにより、読書に対する意欲、感心を高める。	観点 1 知識・技能 ・短歌のリズムや表現の特徴を理解し、情景や心情を表す語句に注意し、短歌の世界を読み味わおうとしたりしている。 ・単語の活用について理解している。	☐ペーパーテスト ☐短歌の音読・暗唱
	【書写】 行書の書き方を学ぼう 3(2) ・行書の部分の書き方を覚え、その漢字を書く。	観点 2 思考・判断・表現 ・表現の工夫とその効果などについて、助言などをふまえて、よい点や改善点を見いだそうとしながら創作している。 ・作品の魅力や特徴が効果的に伝わるように、描写や展開などを工夫して書いている。 ・選んだ本から適切な情報を得て、自分の考えをまとめ、紹介しようとしている。	☐ペーパーテスト ☐パフォーマンステスト ☐授業中のノートやワークシート ☐作品とその作成過程
		観点 3 主体的に学習に取り組む態度 ・進んで知識や経験と結びつけ、学習課題にそって理解したことや考えたことを伝え合おうとしている。 ・筆者の思いをもとに進んで自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・粘り強く表現のよい点や改善点を見いだし、学習の見通しをもって短歌や俳句を創作しようとしている。	☐課題に対する取組の姿勢 ☐授業中のノート ☐授業中の発言・振り返り ☐話す態度、聞く態度
	4 人間のきずな(15) 読む「ヒューマノイド」「字のない葉書」 ・過去と現在、伏線と結末の関係を読み解き、登場人物の言動の意味を考える。 ・随筆の味わい方を知り、日常の読書に生かす。 書く「表現を工夫して書こう」「表現の効果を考える」 ・自分の思いや用件が的確に伝わるように、表現を工夫して書く。 話す聞く「聞き上手になろう」 ・話の展開に注意して、相手の思いや考えを受け止め、質問する。 言葉「同じ訓、同じ音をもつ漢字」	観点 1 知識・技能 ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	☐ペーパーテスト
9 月		観点 2 思考・判断・表現 ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。 ・資料や機器を効果的に使い、わかりやすく伝わるように、表現を工夫している。	☐ペーパーテスト ☐パフォーマンステスト ☐授業中のノートやワークシート ☐作品とその作成過程
	【書写】 行書に仮名を交えて書こう 1(2) ・行書と仮名の調和を意識して書く。	観点 3 主体的に学習に取り組む態度 ・登場人物の言動の意味について粘り強く考え、今までの学習を生かして作品の印象を伝え合おうとしている。いる。 ・論理の展開などに注意して粘り強く聞き、今までの学習を異界して思いや考えを引き出すようなインタビューをしている。	☐課題に対する取組の姿勢 ☐授業中のノート ☐授業中の発言・振り返り ☐話す態度、聞く態度
10 月	5 論理を捉えて(12) 読む「モアイは語る」「月夜の浜辺」 ・意見を裏付けするための、適切な根拠のあり方について理解する。 ・知識や経験を基に、文章の構成や論理の展開、筆者の主張を吟味する。 ・詩の中の語句や表現の工夫に着目して詩を味わい、詩の世界を豊かに想像す	観点 1 知識・技能 ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 ・意見と根拠、具体と抽象など、情報と情報との関係について理解している。	☐ペーパーテスト
		観点 2 思考・判断・表現	☐パフォーマンステスト

	る。 書く「根拠の吟味」「適切な根拠を選んで書こう」 適切な根拠を選び、構成や記述を工夫して自分の考えが伝わる意見文を書く。 【書写】 行書に仮名を交えて書こう2(3) ・行書に調和する仮名の特徴を理解して書く。	- 目的に応じて複数の情報を整理しながら、適切な情報を得て、内容を解釈している。 - 互いの立場や考えを尊重しながら、結論に導くために考えをまとめている。 - 多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている	☐ ペーパーテスト ☐ 授業中のノートやワークシート ☐ 作品とその作成過程
		観点3 主体的に学習に取り組む態度 - 情報と情報の関係に注意し、内容を解釈し、学習の見通しをもって話し合い、考えをまとめようとしている。 - 粘り強く材料を整理して伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって投稿文を書こうとしている。 - 抽象的な概念を表す語句、多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 - 相手や目的に応じて、話の形態や展開に違いがあることを理解している。	☐ 授業の振り返りメモ ☐ 課題に対する取組の姿勢 ☐ 授業中のノート ☐ 授業中の発言・振り返り ☐ 話す態度、聞く態度
11月	6 いにしへの心を訪ねる(10) 読む「平家物語」「仁和寺にある法師」「漢詩の風景」 - 作品の特徴を生かして朗読し、古典の世界に親しむ。 - 登場人物の言動の意味を考え、そこに表れたものの見方や考え方を捉える。 - 読み取った内容を自分の経験と結びつけ、作者のものの見方について考える。 - 漢詩に描かれた状毛や心情を読み取り、構成や表現の効果を考える。 【書写】 行書に仮名を交えて書こう2(3) ・行書とそれに調和する仮名で文章を書く。	観点1 知識・技能 - 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 - 現代語訳などを手がかりにして作品を読むことをとおし、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。 観点2 思考・判断・表現 - 登場人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈している。 - 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決めている。 観点3 主体的に学習に取り組む態度 - 伝えたいことが明確になるように、粘り強く工夫し、学習の見通しをもって感じたことを書こうとしている。 - 漢詩独特の言葉づかいや調子を捉えて、漢詩の世界を読み味わい、古人の心情を捉えている。	☐ ペーパーテスト ☐ 音読・暗唱
12月	7 価値を語る(14) 読む「君は『最後の晚餐』を知っているか」「『最後の晚餐』の新しさ」 - 観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や表現の効果について考える。 - 表などを用いて、情報を整理する。 話す聞く「話し合いの流れを確認しよう」「立場を尊重して話し合おう」 - 話し合いの流れを整理するために必要なことを話し合い、考えをまとめる。 - 意見を裏付けのための、より適切な今経の在り方について考える。 読書「『自分らしさ』を認め合う者会へ」 - 二つの文章を、自分の知識や敬遠と結びつけて読み、感想を伝え合う。 【書写】 書き初め(3) ・新年を迎える気持ちを行書か楷書か選択して表現する。	観点1 知識・技能 - 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている - 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。 観点2 思考・判断・表現 - 観点を明確にして文章を比較するなどし文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 - 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。 観点3 主体的に学習に取り組む態度 - 進んで観点を明確にして文章を比較し、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。 - 学習課題にそって、積極的に具体と抽象の関係について理解しようとしている。	☐ ペーパーテスト ☐ ペーパーテスト ☐ パフォーマンステスト ☐ 授業中のノートやワークシート ☐ 作品とその作成過程 ☐ 課題に対する取組の姿勢 ☐ 授業中のノート ☐ 授業中の発言・振り返り ☐ 話す態度、聞く態度
1月 2月 3月	8 表現を見つめる(28) 読む「走れメロス」「鍵」 - 作品の魅力を語るうえで鍵となる語句を見つけ、その意味や語感を確かめる。 - 人物像の表現の効果など、自分の選んだ観点で作品の魅力を伝える。 - 詩を読んで感じたことを自分の経験と結びつけ、考えを深める。(書く「描写を工夫して書こう」 - 表現の効果を考えて描写を工夫したり、読み手からの助言をふまえて自分の作品のよい点や改善点を見いだしたりする。 言葉「一字違いで大違い」「話し言葉と書き言葉」 話す聞く「国語の学びを振り返ろう」 - 互いの考えを尊重しつつ対話する。 【書写】 書き初め(3) ・新年を迎える気持ちを行書か楷書か選択して表現する。	観点1 知識・技能 - 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 観点2 思考・判断・表現 - 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。 - 根拠の適切さを考え説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりし、自分の考えが伝わるように工夫している。 観点3 主体的に学習に取り組む態度 - 進んで表現の効果について考え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。 - 粘り強く文章の構成や展開を工夫し、学習の見通しをもって感じたことや想像したことを書こうとしている。	☐ ペーパーテスト ☐ ペーパーテスト ☐ パフォーマンステスト ☐ 授業中のノートやワークシート ☐ 作品とその作成過程 ☐ 課題に対する取組の姿勢 ☐ 授業中のノート ☐ 授業中の発言・振り返り ☐ 話す態度、聞く態度